

船員保険事業（健康づくりの支援）に関するアンケート

調査結果概要版

令和2年3月

調査の概要

船員保険部では、加入者の皆さまに、将来にわたって健康に暮らしていただくため、健診事業等の実施を通じて、健康づくりの支援に力を入れています。

本調査は今後、こうした取組みをより効果的に実施していくため、船舶所有者と加入者の皆さまのヘルスリテラシーやニーズを把握したいことから、実施したものです。

■調査方法

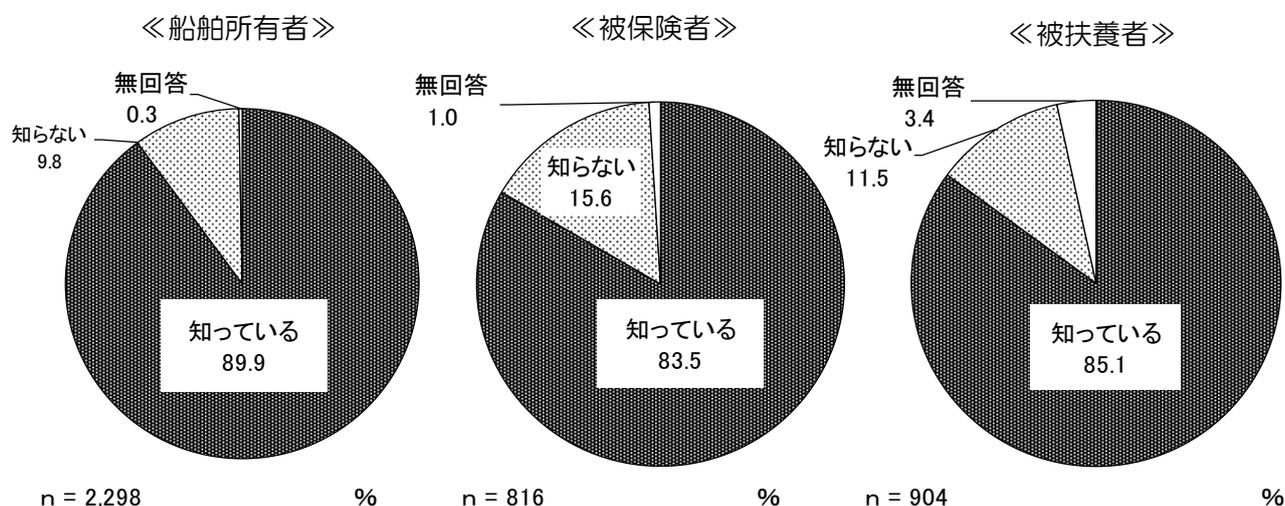
調査対象	①船舶所有者	4,361件
	②被保険者（15歳～74歳）	6,000件
	③被扶養者（40歳～74歳）	3,500件
	※②及び③は、船員保険の加入者の中から無作為に選ばせていただきました。	
実施方法	郵送による調査票配布-郵送回収またはインターネットによる回答	
実施期間	令和2年1月20日（月）～2月17日（月）	
有効回答	①2,298票（有効回答率52.7%）	
	②1,209票（有効回答率20.2%）	
	③1,100票（有効回答率31.4%）	

調査の結果

「生活習慣病予防健診」について

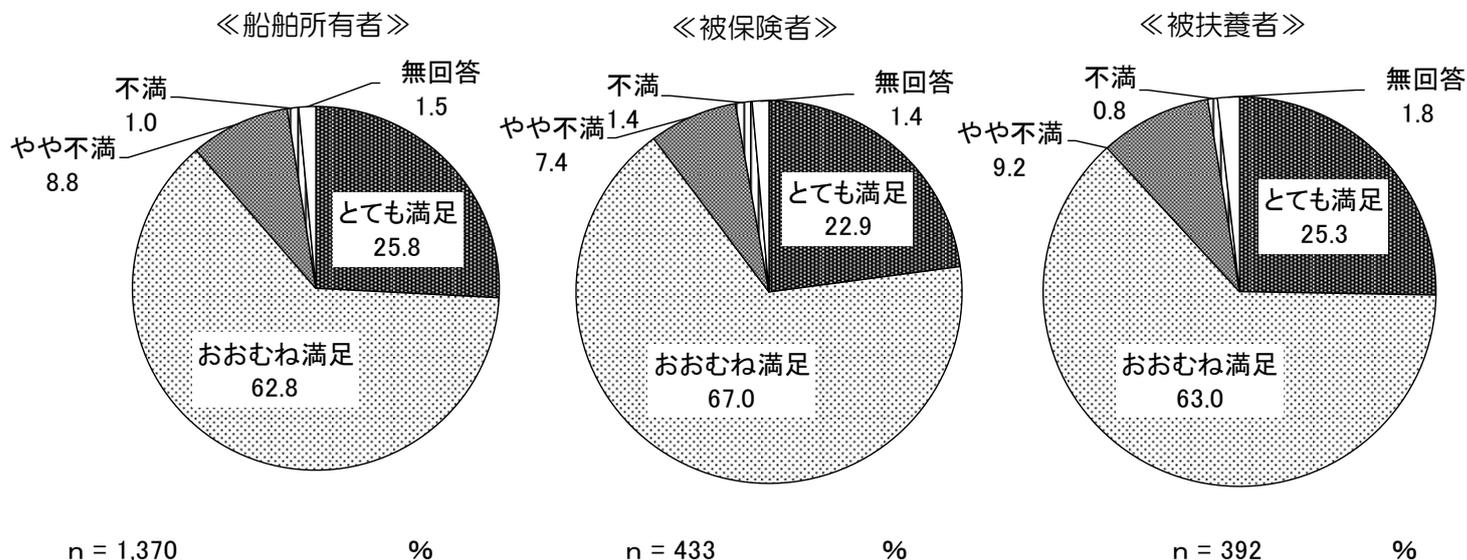
(1) 船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」が無料で受けられることの周知度

「知っている」は、《船舶所有者》89.9%、《被保険者》83.5%、《被扶養者》85.1%で、「生活習慣病予防健診」の周知状況はいずれも良好となっています。



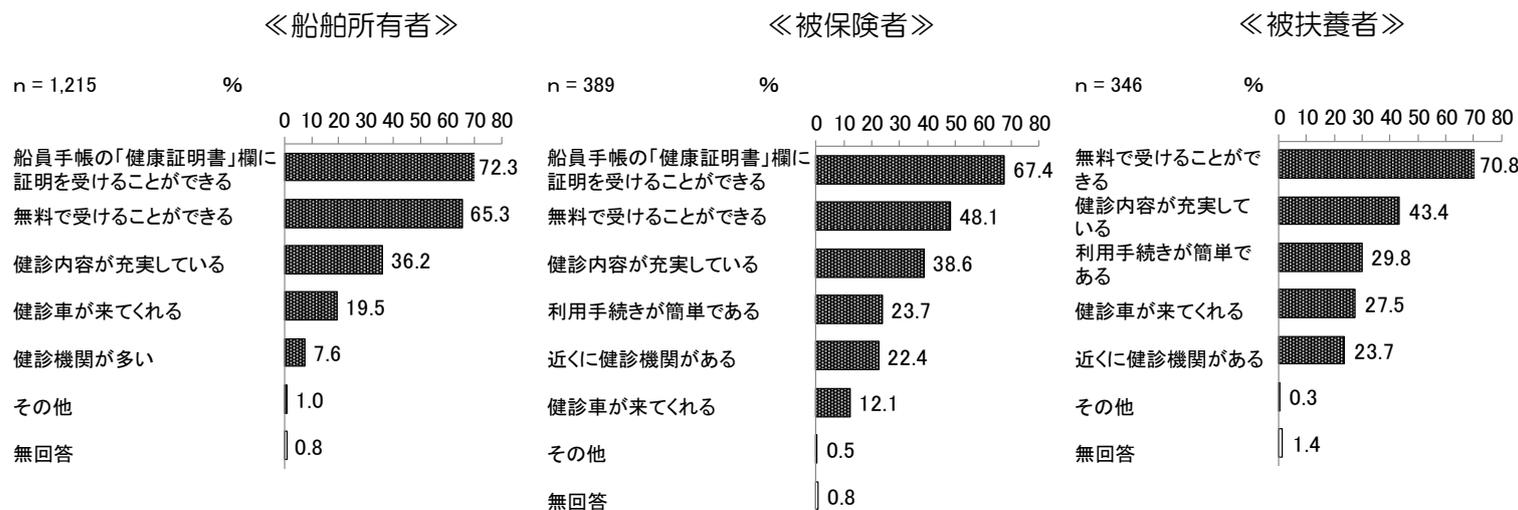
(2) 「生活習慣病予防健診」の満足度

「生活習慣病予防健診」受診者の健診に対する満足度は、《船舶所有者》88.6%（「とても満足」25.8%+「おおむね満足」62.8%）、《被保険者》89.9%（「とても満足」22.9%+「おおむね満足」67.0%）、《被扶養者》88.3%（「とても満足」25.3%+「おおむね満足」63.0%）、で、いずれも満足度は高くなっています。



(3) 「生活習慣病予防健診」に満足している理由

「船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる」が《船舶所有者》72.3%、《被保険者》67.4%と最も高くなっています。《被扶養者》では、「無料で受けることができる」が70.8%と最も高くなっています。

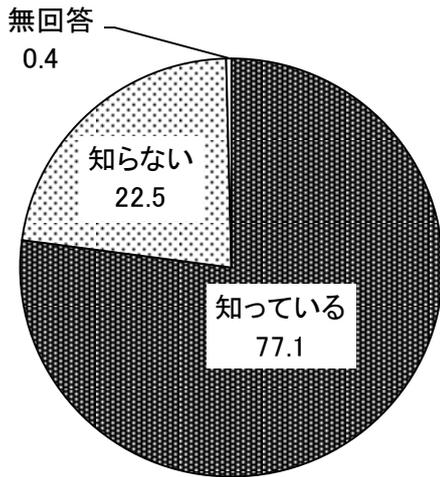


「特定健康診査」について

(1) 「特定健康診査」の周知度

周知度について、「知っている」は77.1%と高くなっています。受診状況について、「受診したことがある」は、48.6%と5割弱を占めています。

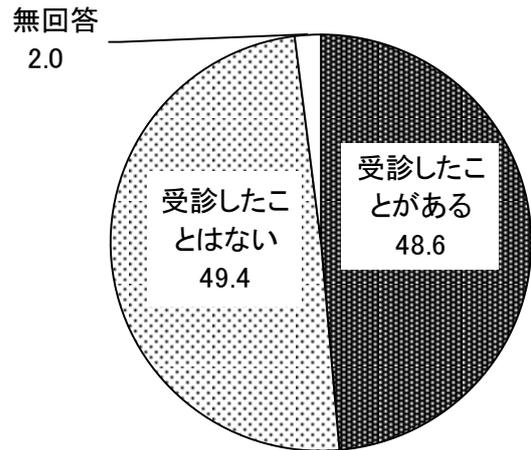
《被扶養者 周知度》



n = 1,100

%

《被扶養者 受診状況》



n = 848

%

(2) 「特定健康診査」の未受診理由

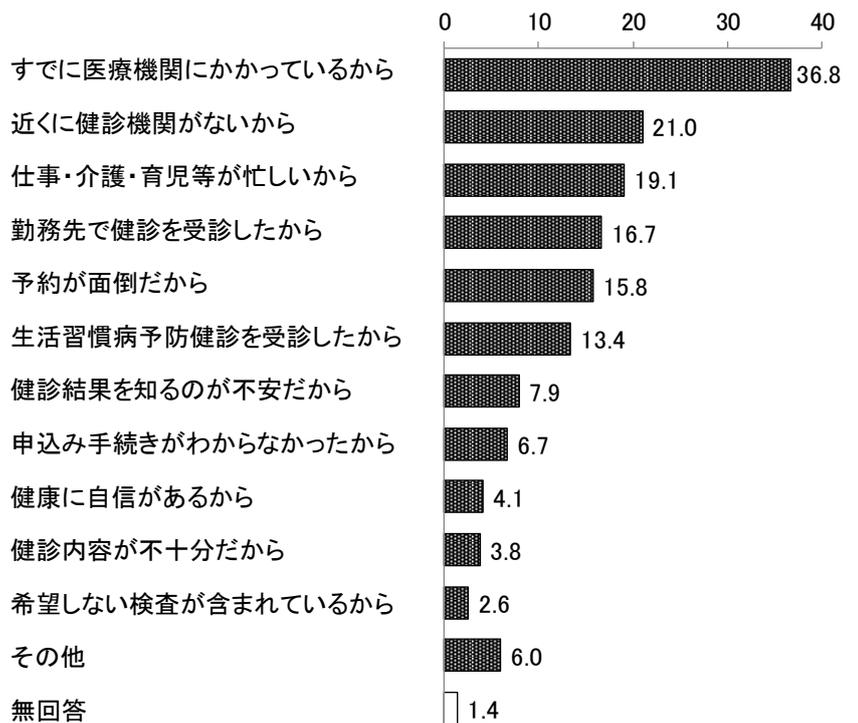
《被扶養者》の中で「すでに医療機関にかかっているから」が36.8%と最も高くなっています。

次いで、「近くに健診機関がないから」(21.0%)、「仕事・介護・育児等が忙しいから」(19.1%)となっています。

《被扶養者》

n = 419

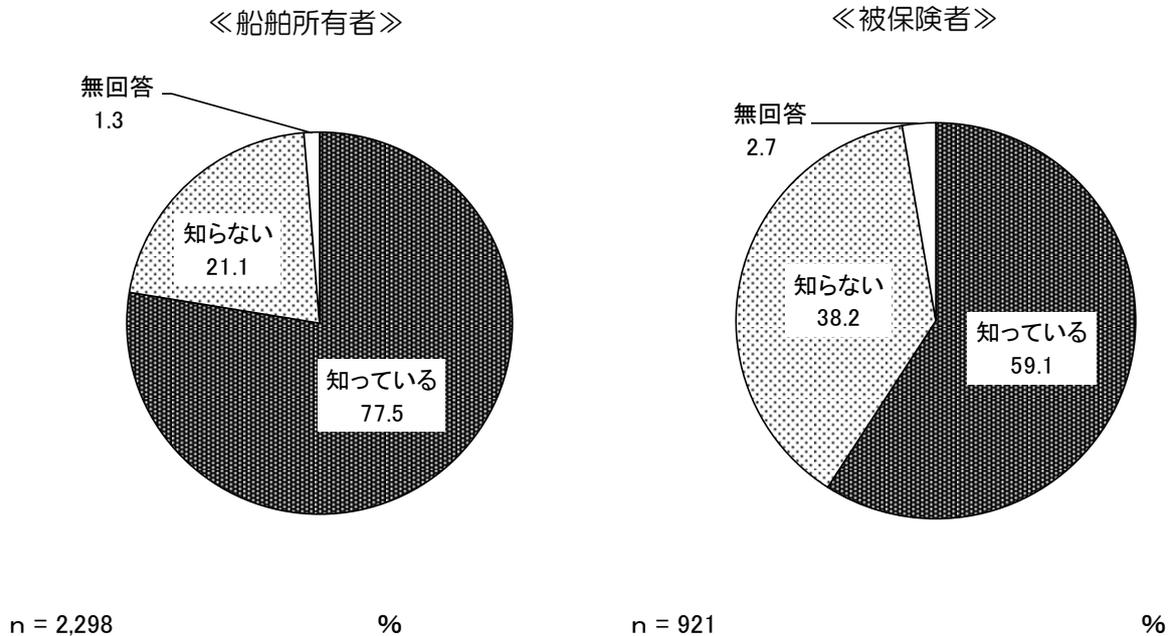
%



「健康証明書」欄の写しの提供について

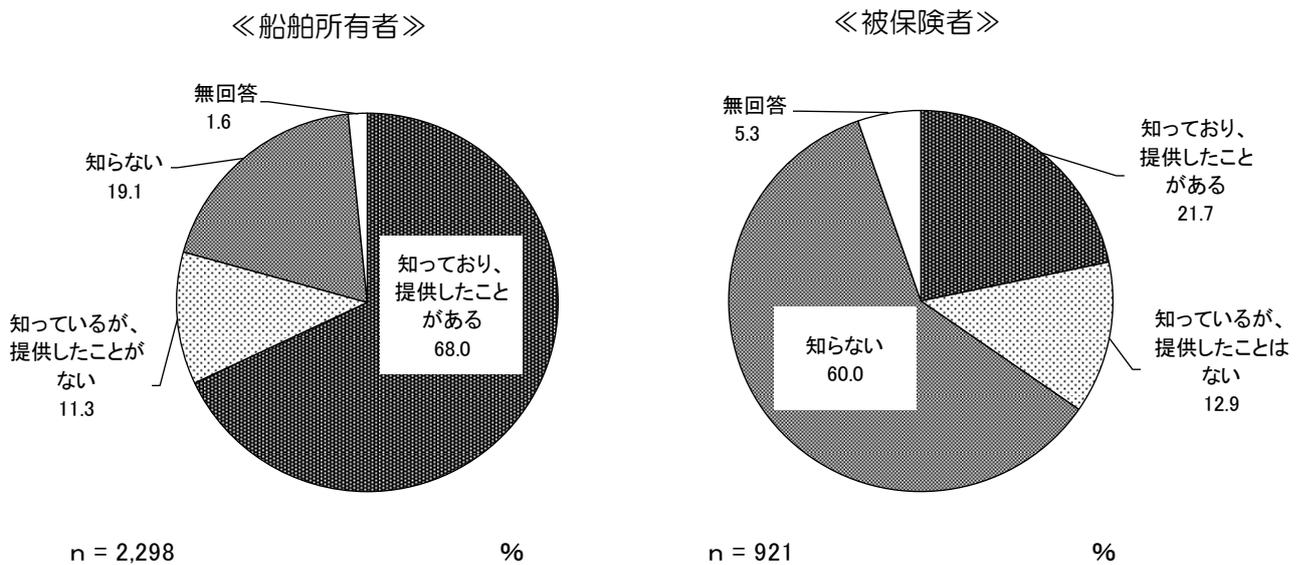
(1) 「生活習慣病予防健診」時に、健康証明が受けられることの周知度

「知っている」は、《船舶所有者》77.5%、《被保険者》59.1%で、《船舶所有者》が《被保険者》を10ポイント以上、上回っています。



(2) 「健康証明書」欄の提供依頼の周知度

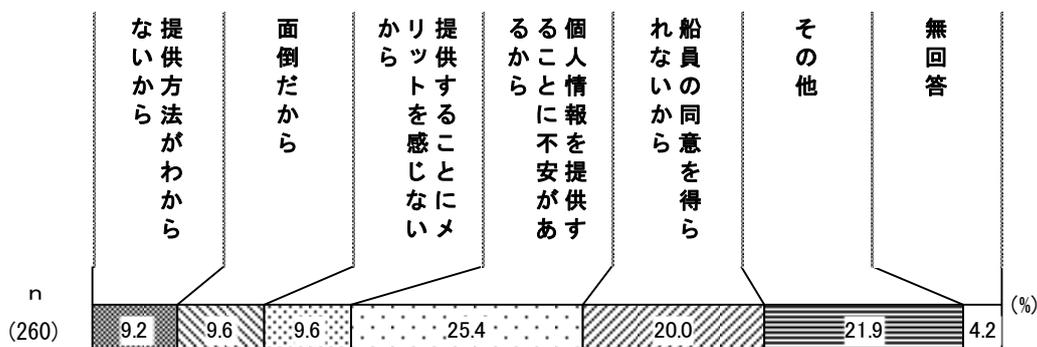
《船舶所有者》は、「知っており、提供したことがある」(68.0%)、「知っているが、提供したことがない」(11.3%)で提供実施率が6割、周知度は7割を超えているのに対し、《被保険者》は、「知らない」(60.0%)が過半数を占め、状況に差が見られます。



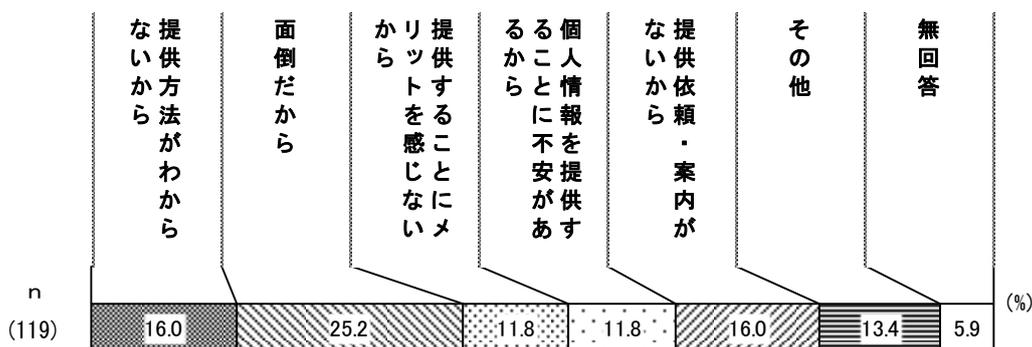
(3) 「健康証明書」欄の提供が難しい理由

「船舶所有者」は、「個人情報を提供することに不安があるから」が25.4%で最も高いのに対し、「被保険者」は、「面倒だから」が25.2%で最も高くなっています。

「船舶所有者」



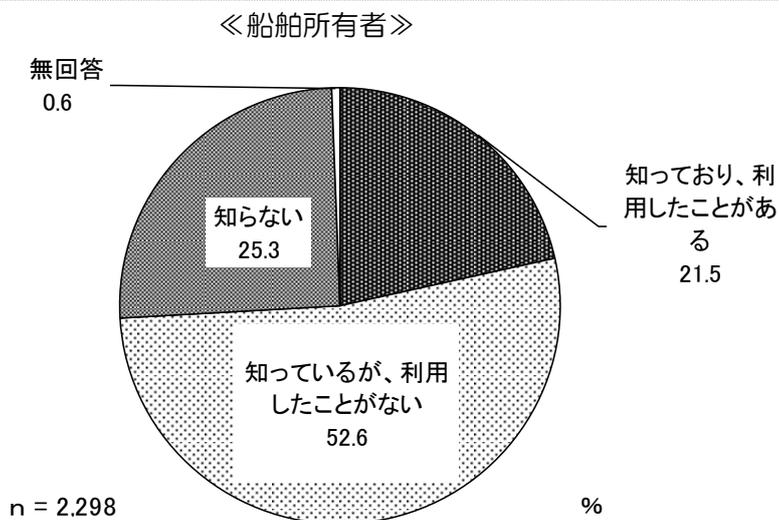
「被保険者」



「巡回健診」について

(1) 「巡回健診」周知度及び利用状況

「船舶所有者」の中で、「知っており、利用したことある」(21.5%)、「知っているが、利用したことがない」(52.6%)で提供実施率が2割、周知度は7割を超えています。

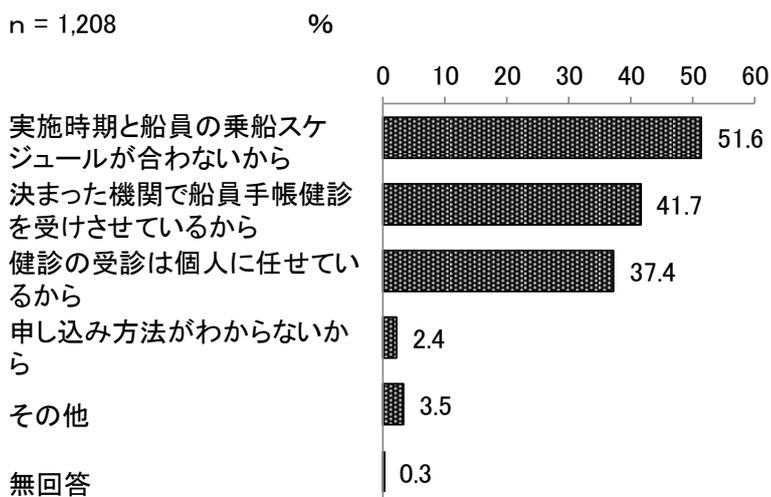


(2) 「巡回健診」未利用の理由

《船舶所有者》の中で、「実施時期と船員の乗船スケジュールが合わないから」が、51.6%と最も高く、「決まった機関で船員手帳健診を受けさせているから」(41.7%)が10ポイント程度の差で次いでいます。

n = 1,208

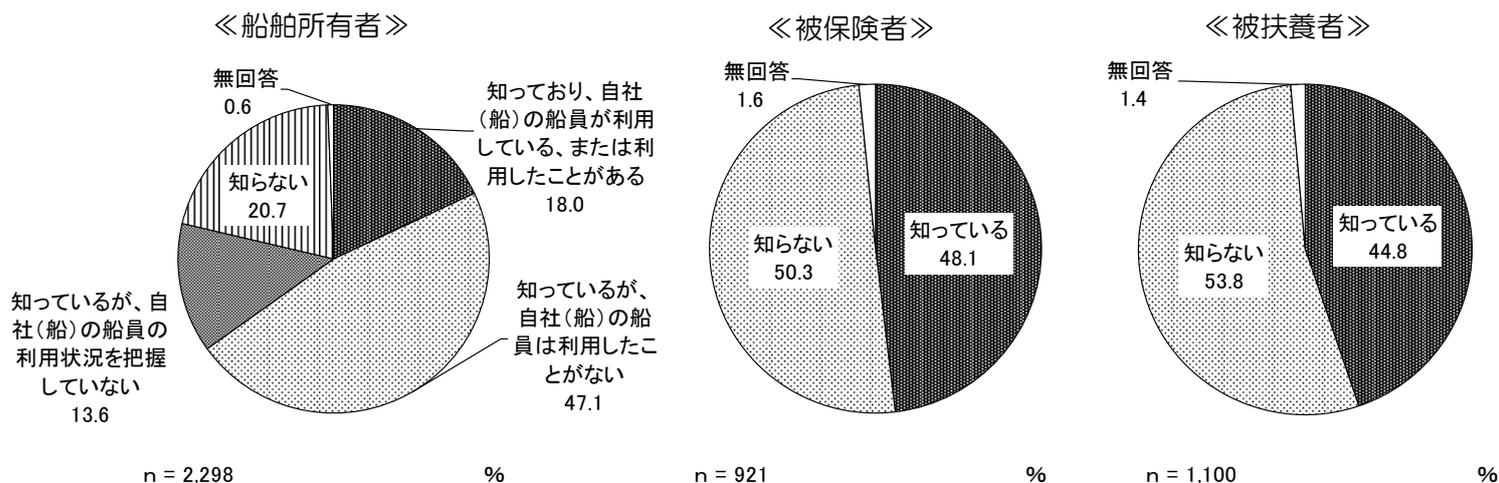
《船舶所有者》



「特定保健指導」について

(1) 「特定保健指導」が無料で受けられることの周知度

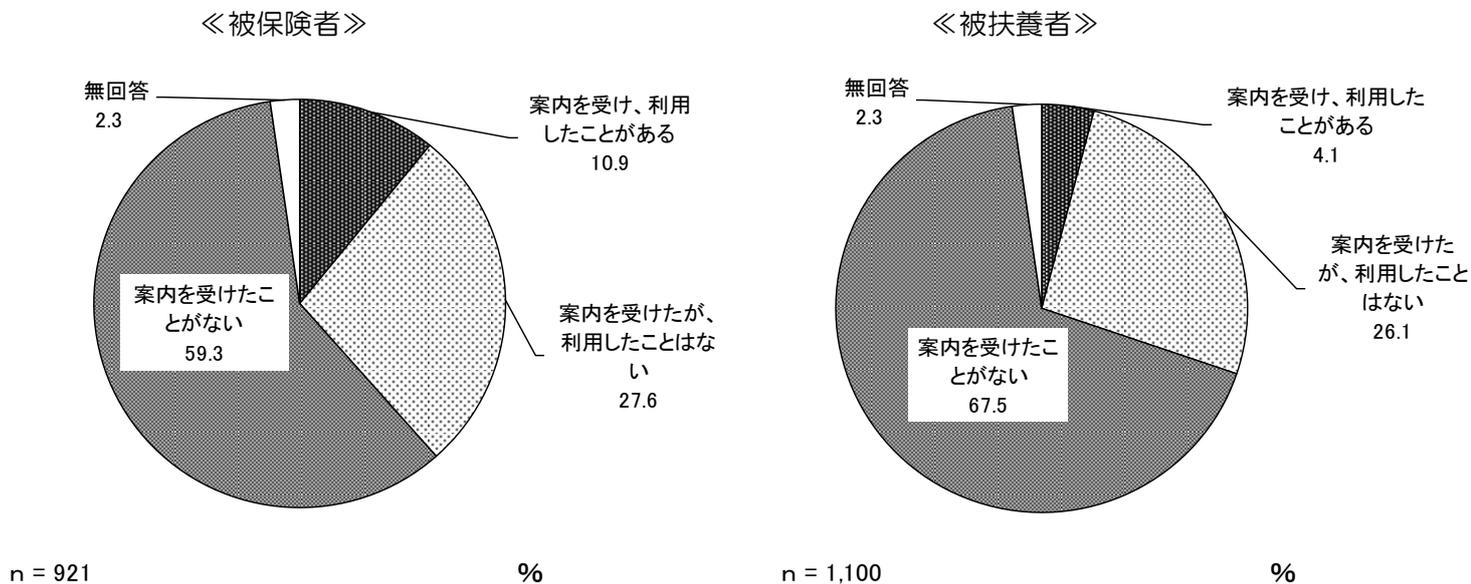
周知度について、《船舶所有者》は、78.7%（「知っており、自社（船）の船員が利用している、または利用したことがある」18.0%+「知っているが、自社（船）の船員は利用したことがない」47.1%+「知っているが、自社（船）の船員の利用状況を把握していない」13.6%）と7割を超えています。《被保険者》・《被扶養者》では、「知っている」が、4割を超えています。



(2) 「特定保健指導」の利用状況

案内を受けたことがある割合（「案内を受け、利用したことがある」＋「案内を受けたが、利用したことはない」）は、《被保険者》・《被扶養者》いずれも3割程度になっています。

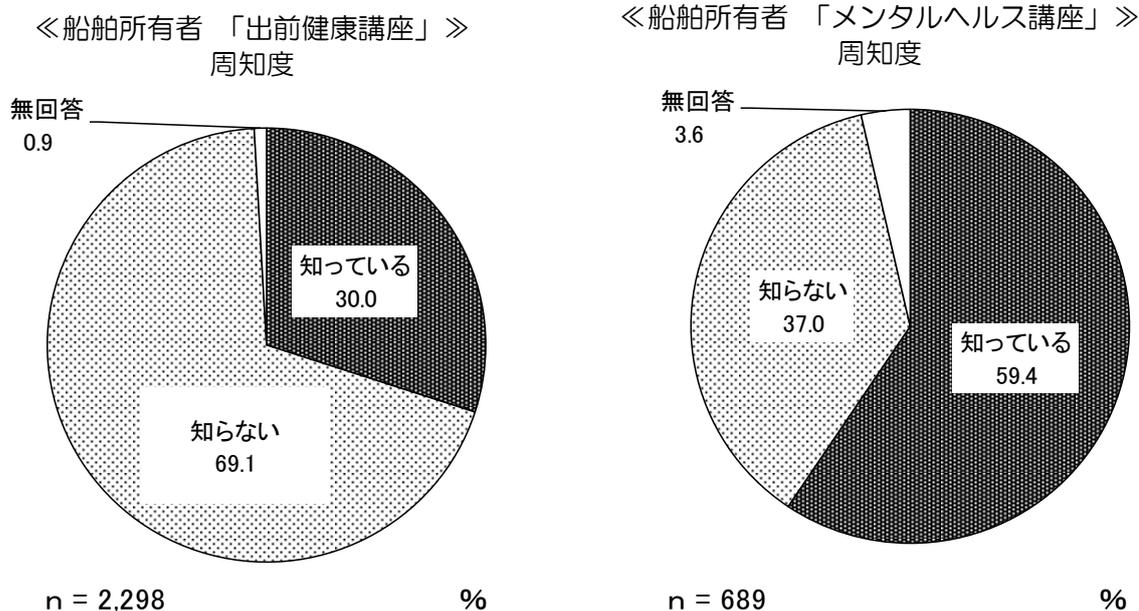
一方で、「案内を受けたことがない」が、《被保険者》では 59.3%、《被扶養者》では 67.5%と半数以上を占めています。



「出前健康講座」について

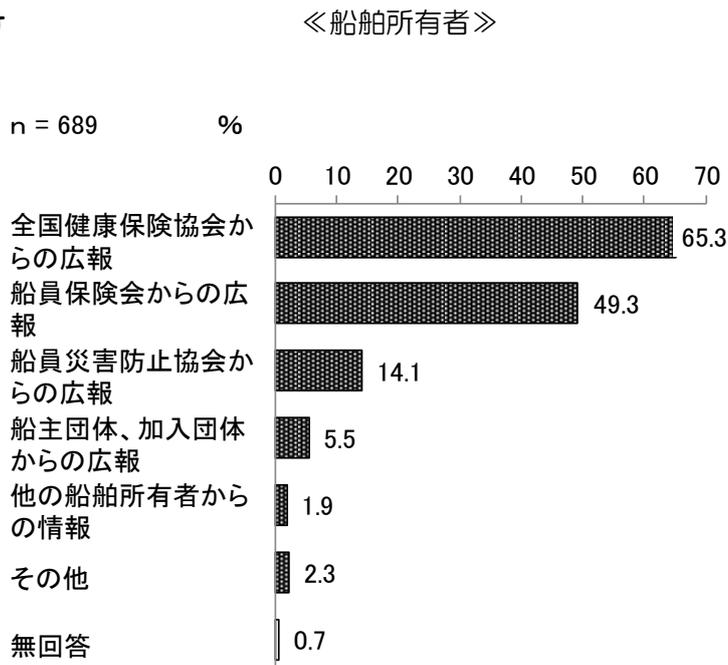
(1) 「出前健康講座」の周知度

《船舶所有者》の中で、「出前健康講座」の実施について「知っている」としたのは3割にとどまり、「知らない」が69.1%を占めています。「出前健康講座」の実施について「知っている」方の中で、メンタルヘルスに関するテーマを取り扱っていることの周知度は、「知っている」が59.4%と半数を占めています。



(2) 「出前健康講座」を知ったきっかけ

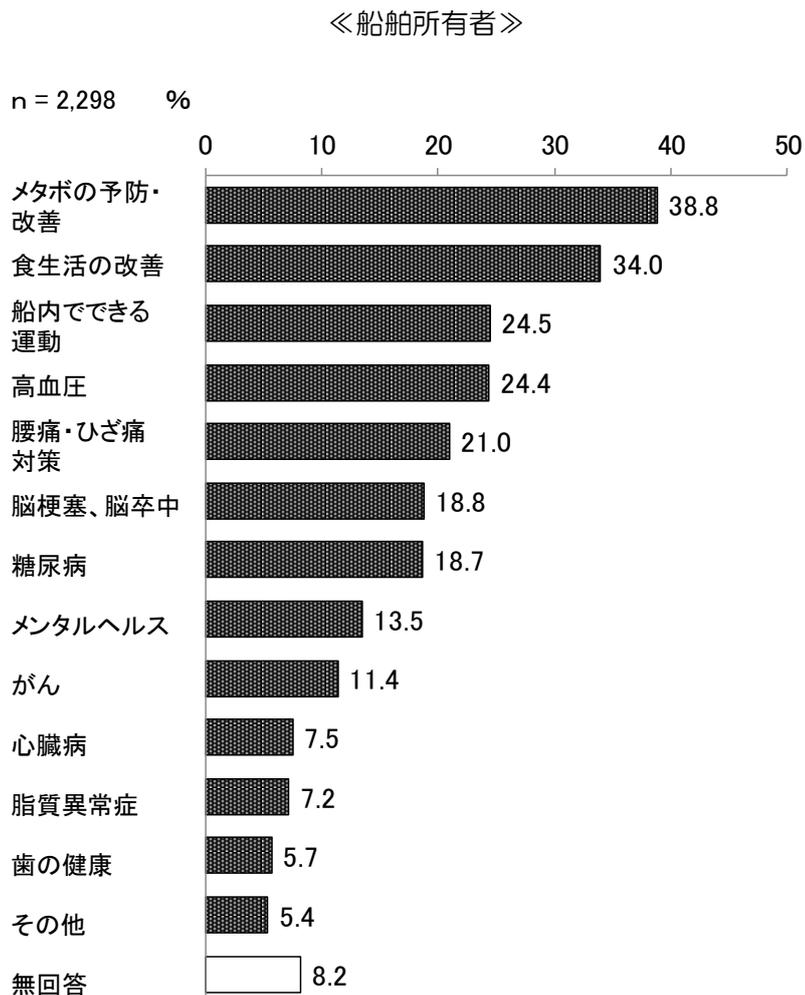
《船舶所有者》の中で、「全国健康保険協会からの広報」が、65.3%と最も高く、「船員保険会からの広報」(49.3%)が10ポイント程度の差で次いでいます。



(3) 申し込んでみたい「出前健康講座」のテーマ

「メタボの予防・改善」が38.8%で最も高く、「食生活の改善」が34.0%と約5ポイント程度の差で次いでいます。

以下、「船内でできる運動」(24.5%)、「高血圧」(24.4%)、「腰痛・ひざ痛対策」(21.0%)の順になっていますが、大きなポイント差はありません。

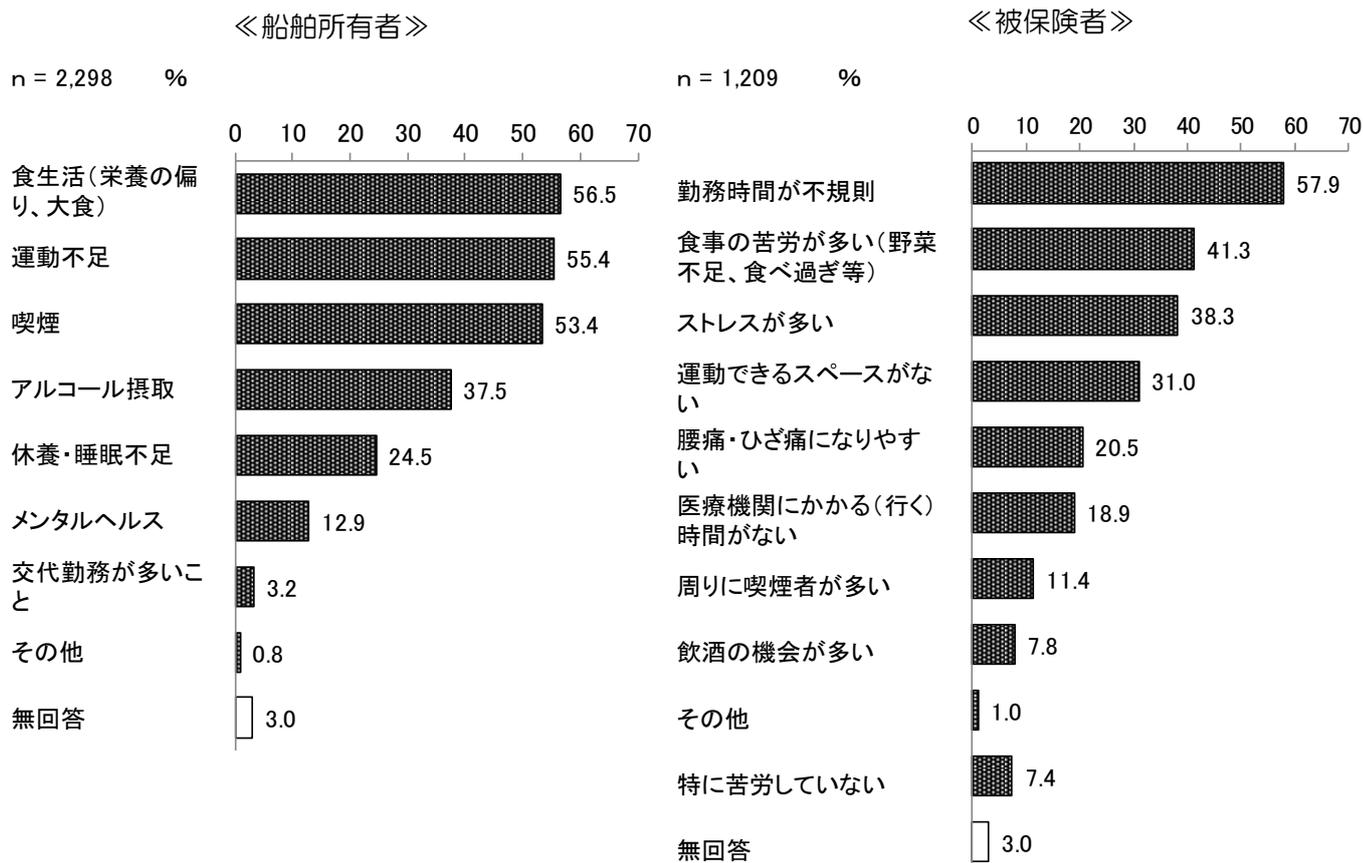


「船員の健康づくりの取り組み」について

(1) 船員の健康保持・増進のための「生活習慣上の課題」

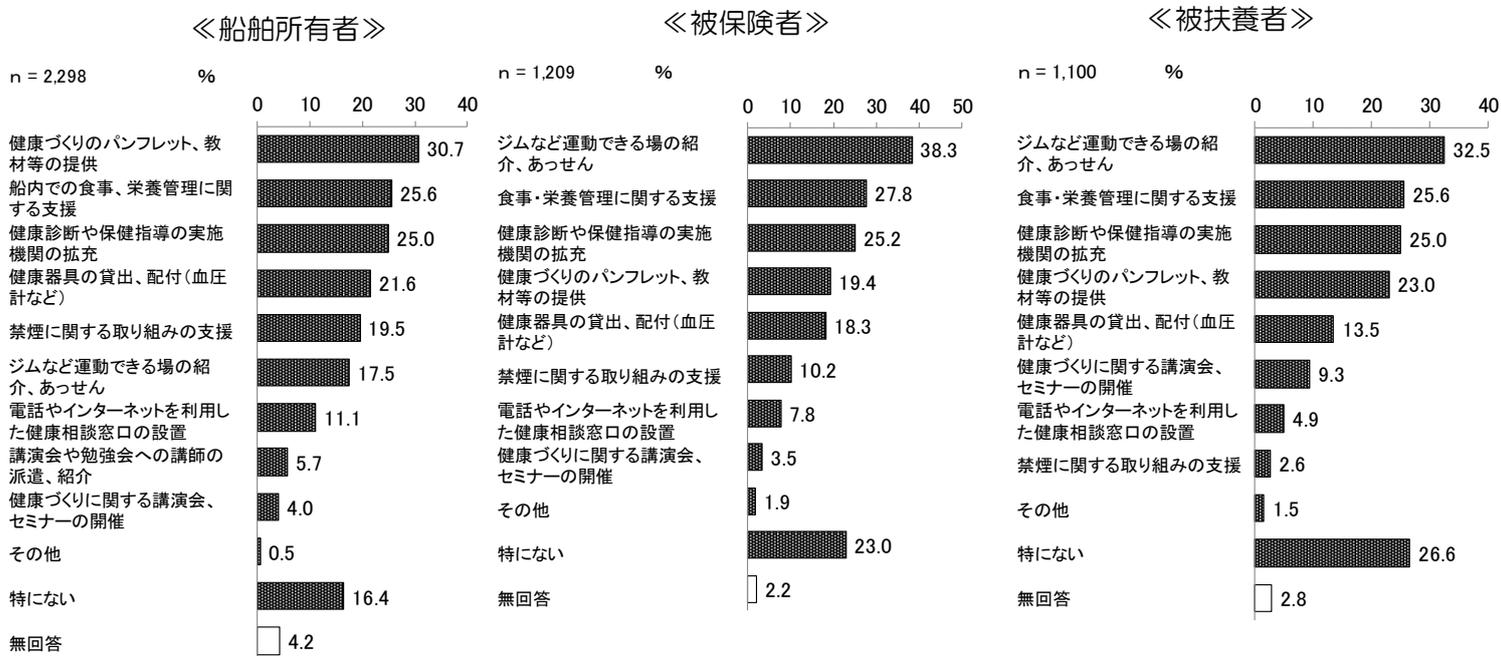
《船舶所有者》では「食生活（栄養の偏り、大食）」（56.5%）、「運動不足」（55.4%）、「喫煙」（53.4%）の順で上位3位となっていますが、大きなポイントの差はありません。

《被保険者》では、「勤務時間が不規則」が57.9%と最も高くなっており、「食事の苦勞が多い（野菜不足・食べ過ぎ等）」（41.3%）、「ストレスが多い」（38.3%）の順で上位3位となっています。



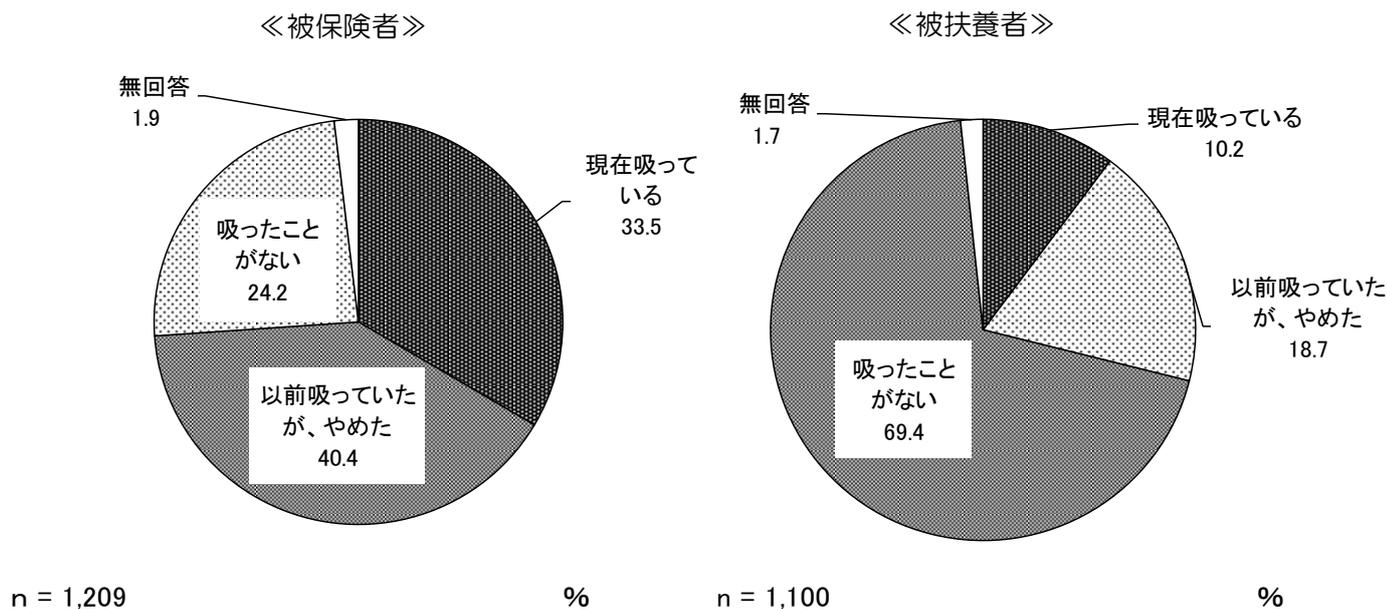
(2) 健康づくりを進めるうえで、船員保険からの必要な支援

《船舶所有者》では、「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」が30.7%と最も高くなっていますが、《被保険者》・《被扶養者》では、「ジムなど運動できる場の紹介、あっせん」が3割と最も高くなっています。



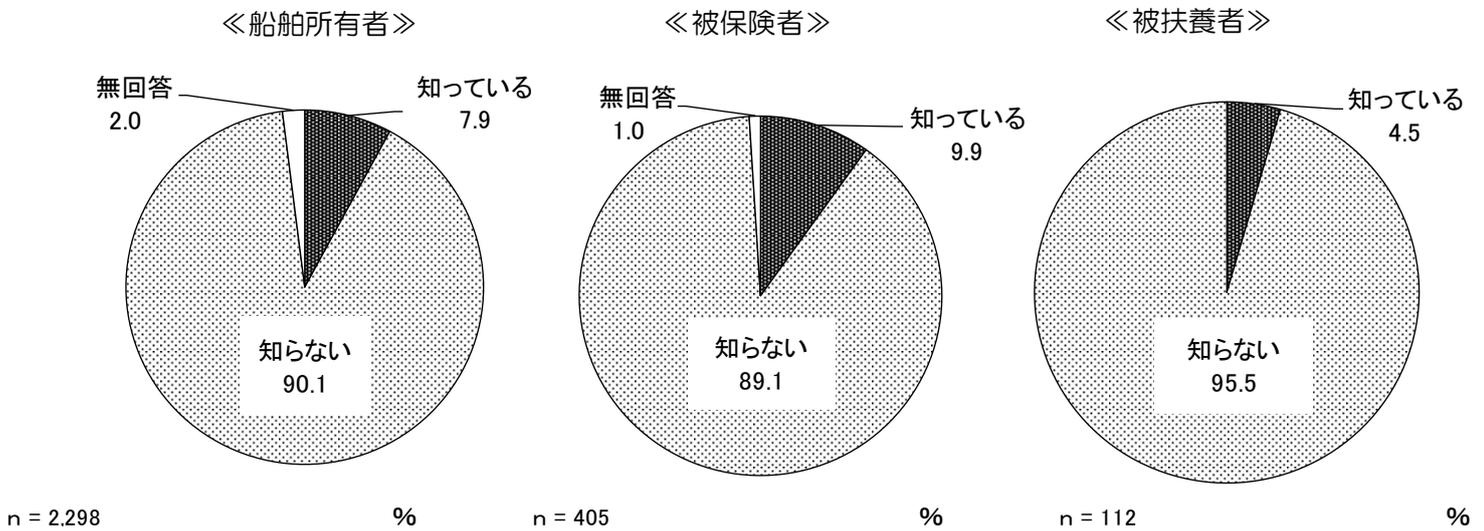
(3) 喫煙者の割合

「現在吸っている」は、《被保険者》は33.5%、《被扶養者》は、10.2%になっています。



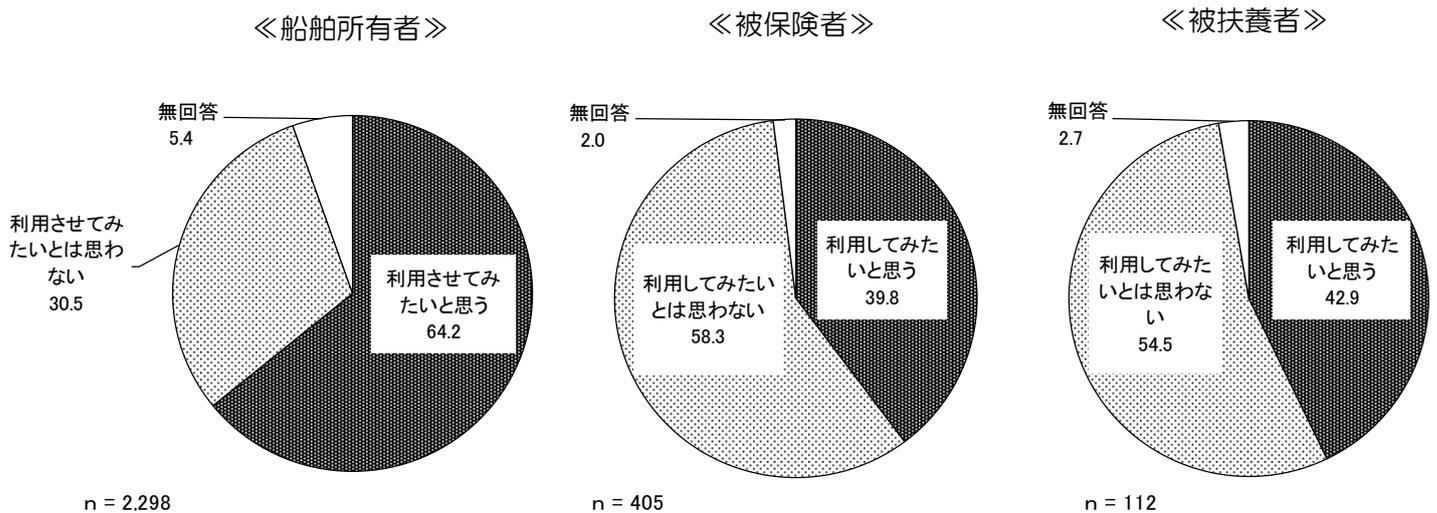
(4)「オンライン禁煙プログラム」の周知度

スマートフォンアプリと禁煙補助剤を利用して禁煙を支援する「オンライン禁煙プログラム」の周知度は、「知らない」が《船舶所有者》90.1%、《被保険者》89.1%、《被扶養者》95.5%となっており、いずれも周知度は低いです。



(5)「オンライン禁煙プログラム」の利用意向

《船舶所有者》では「利用させてみたいと思う」が64.2%と、半数以上が利用意向をもっています。《被保険者》では「利用してみたいと思う」が39.8%、《被扶養者》の「利用してみたいと思う」では、42.9%であり、ともに喫煙者の約4割が利用意向をもっています。



船員保険の「広報活動」について

(1) 船員保険の活動に関する情報取得

《船舶所有者》の中で、日頃、船員保険の活動に関する情報を知る媒体は、「船員保険のパンフレット」が 87.5%と最も高くなっています。70 ポイント以上の差で「船員保険部ホームページ」(16.8%)、「全国健康保険協会船員保険部以外の業界団体からの情報」(10.1%)と次いでいます。

《船舶所有者》

